



高齢者を中心に消費者被害が増えています！

県内においても、高齢者を中心になりすまし詐欺被害は大幅に増加しています。

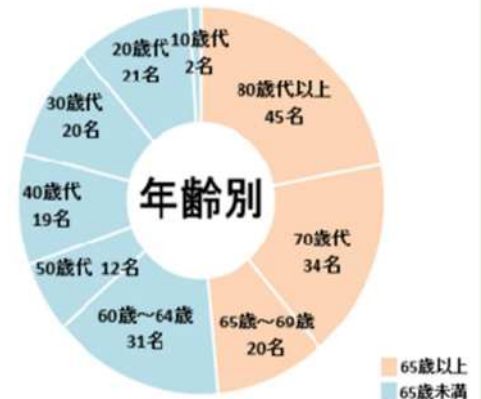
「なりすまし詐欺」は令和7年12月末時点で、被害額が13億4,942万円（前年同期比は約3倍）に上り、特に、65歳以上の高齢者の割合は約48.5%と、高齢者の消費者被害は深刻さを増しています。

このような状況から、消費者被害の未然防止や被害拡大防止のための対策が重要になります。

被害認知状況

204件、13億4,942万円（前年比+84件（+70.0%）、+9億4,578万円（+234.3%））

	令和7年中		令和6年中		比較増減	
	件数	被害金額(万円)	件数	被害金額(万円)	件数	被害金額(万円)
なりすまし詐欺	204	134,942	120	40,364	+84	+94,578
詐欺	192	132,701	112	39,848	+80	+92,853
オレオレ詐欺	110	108,139	30	30,099	+80	+78,040
預貯金詐欺	6	352	12	1,131	-6	-779
架空料金請求詐欺	56	13,410	57	5,930	-1	+7,480
融資保証金詐欺	5	635	4	206	+1	+429
還付金詐欺	11	2,808	5	681	+6	+2,127
金融商品詐欺	1	6,950	0	0	+1	+6,950
ギャンブル詐欺	0	0	1	65	-1	-65
交際あつせん詐欺	2	377	2	1,416	±0	-1,039
その他	1	30	1	320	±0	-290
キャッシュカード詐欺盗	12	2,241	8	516	+4	+1,725



出典：福島県警察本部『なりすまし詐欺認知状況等について』

消費者安全確保地域協議会とは？

高齢化、独居化が進むのに伴い、消費者被害の未然防止・拡大防止に向けて、消費生活センターへの相談を待つだけでなく、多様な機関と連携した地域における日々の見守りを通じ、能動的に消費生活センターへつなぐ仕組みづくりが重要です。

地域における見守りネットワーク
(消費者安全確保地域協議会)

3つの主な機能

①消費者に情報を届け、注意を呼びかける

ex. 民生委員による地域の訪問時、自治会・町内会の集会、介護サービス利用時・検診時に一言、出前講座の実施、消費者教育の実施

②それぞれの活動の中で、消費者の異変に気づき

ex. 介護ヘルパー・保健師の訪問時、民生委員の訪問時、ATMでの出勤時、コンビニでの支払い時、宅配時…

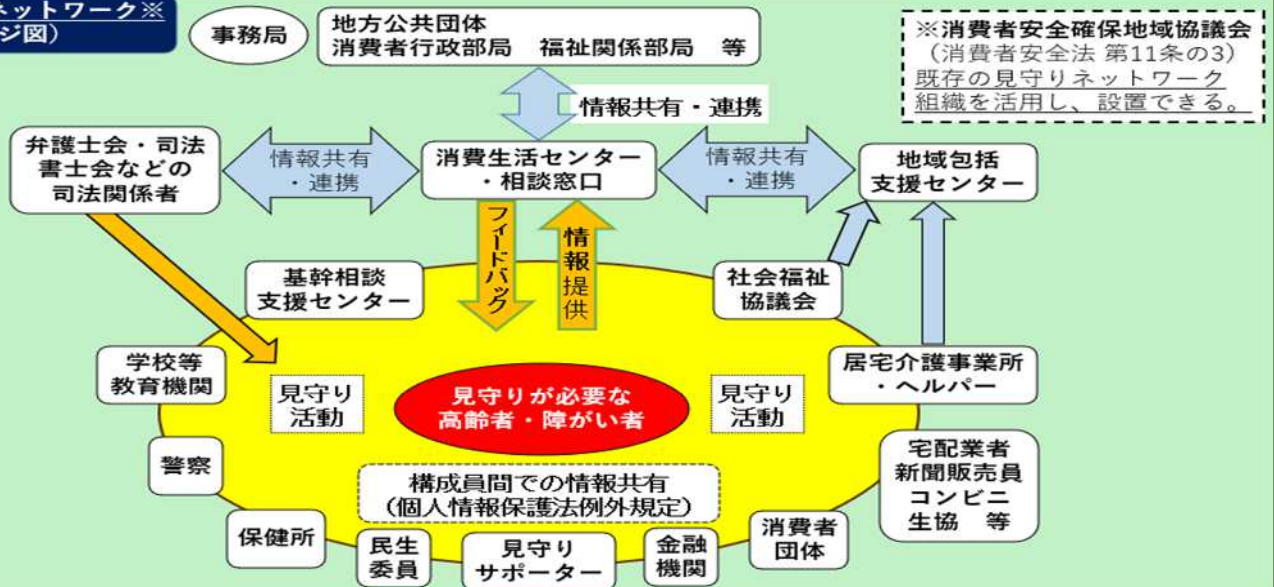
③異変に気づいた場合は、専門相談窓口(消費生活センター)につなぐ

協議会の構成員間では、消費者の安全確保のために必要な情報を共有可（個人情報保護法の例外規定）⇒見守りリストを作成して効果的な見守り活動も可能

※福祉等の他分野と有機的に連携することで、消費者被害の発見を契機とした、生活保護・成年後見・障がい者支援等の福祉的な手当て等へつながることも期待される。

○市町村消費者安全確保地域協議会モデル

市町村の見守りネットワーク※
(イメージ図)



よくある悩み1 関係部署との連携

地域協議会の設置にあたり、関係部署から協力が得られるか心配



社会の高齢化、複雑化、多様化はどの部署でも共通の課題です。
地域協議会の設置は、福祉部局における重層的支援体制整備事業との連携等、どの部署においても相互補完に寄与する取組です。
積極的に関係部署に働きかけてください。

よくある悩み2 個人情報の取扱い

情報漏洩が怖くて、個人情報を取り扱うことに抵抗がある



○個人情報はずしも取り扱う必要はありません。
○取り扱う際には、必要最低限の情報にし、共有する範囲も最小限にする等の運用を行いましょう。
(発展的な活用方法として…)
○消費者庁や警察等から提供された個人情報をベースに見守りリストを作成し、配ることも可能です

よくある悩み3 事務的な負担

地域協議会を設置することによって過度な事務的負担がかからないか心配



一定の事務は生じる可能性がありますが、**既存のネットワークを活用**することで効率的な運営が可能です。
○既存のネットワークの会議に上乗せして会議を行うことができます。
○設置にあたっては、既存の会議の場で地域協議会設置の了承を得て議事録に残せば必ずしも新規で要綱を作成する必要はありません。

出典：消費者庁HP『消費者安全確保地域協議会のススメ』

福島県消費生活課では、市町村支援メニューとして、「消費者安全確保地域協議会(見守り体制)設置支援」を行っています
ご相談・ご質問等ありましたら、下記連絡先まで！

電話：024-521-7180

メール：syouhi@pref.fukushima.lg.jp



福島県消費者教育推進大使
トラブルくん